

開創9周年記念法会

と き：令和3年12月2日（木）11時から
と ころ：円光寺 津市河芸町上野 2861

059-245-4132

9周年記念法会は、霊場会だけで行いますので、皆様のご参列は、ご遠慮させていただきます。皆様のご祈願を法会で読み上げますので、同封のハガキにご記入の上、ご返送ください。



2020年12月2日 開創8周年(四天王寺)

寺社ちょっといい話

「津の七福神巡りってご存知ですか？」

高山神社 宮司 多田久美子



津市大門の津センターパレス2階にある中央公民館にて、「養正婦人会地区委員懇談会」が去る7月29日に開催され、テーマ「津の七福神巡りってご存知ですか？」と題して、「伊勢の津七福神」のことを話す機会をいただきました。

これは、高山神社の年末年始行事である、除夜祭時の年越しそばや、1月7日しめ縄焼時の七草粥の振る舞い、また節分祭の豆まきなど各行事を20年以上にわたりお力添え頂いた方々の会からのお話

でした。七福神の開創法会、当社で行われた3周年祭の時も惜しみないご協力をくださった氏子さん、養正婦人会の会長をされている木村様から、婦人会の地区委員懇談会において、津の七福神巡りについての話をしたいとご依頼があったことからでした。

早速、事務局の日比氏とも打合せをして、当日は、日比氏が作成してあった『伊勢の津七福神』(全9頁)と、『七霊場のご案内(寺社の佇まいと七福神)』(全5頁)の資料を活用し、またプロジェクターを利用しながら、七福神や巡拝の起源・ご利益、また県内の七福神霊場のことなども含め、平成24年12月2日に『伊勢の津七福神』が開創したことの趣旨、霊場会の年間行事、各霊場の歴史や、御尊体について、行事や見どころなど、予定時間ギリギリまで話をさせていただきました。

広い会場で、換気をし、席の間隔をあけ、手指の消毒をし、マスク着用をしてコロナ感染予防対策をしていただき30名程の方々に出席いただきました。時々脱線をした私の拙い喋りではありましたが、皆様に耳を傾けていただき『伊勢の津七福神』のことを知っていただけたこと、こうした機会をいただけたことを感謝いたします。

拝



講演会の様子

伊勢の津七福神 吟行③

伊藤芳樹さん作（津市藤方・楓社漢詩会）

結城神社

咲き満つる枝垂梅越しなる社殿

難船漂着勢州濱

難船漂着す勢州の浜

陣没忠臣報國眞

陣没せる忠臣報國眞なり

神苑逍遙懷往事

神苑を逍遙して往事を懐い

墳前拝跪落花頻

墳前拝跪すれば落花頻なり

南朝の忠臣 結城宗広公は捲土重来を期し、船団を擁して東国に向かう途中、伊勢湾で暴風雨に遭い、阿漕浦に漂着した。そして、此の地で病死したが、誠に国を思う忠臣であった。結城神社を訪れ、神苑を巡るとその頃が偲ばれ、墓前に跪くと梅の花びらが降りかかるのであった。

安楽寺

山並みを渡る晚鐘安楽寺

曹洞梵宮鶏足稱

曹洞の梵宮鶏足と稱す

君皇勅願此郷興

君皇の勅願此の郷に興す

薬師尊像満慈愛

薬師尊像慈愛に満つ

韻韻鐘聲邑里澄

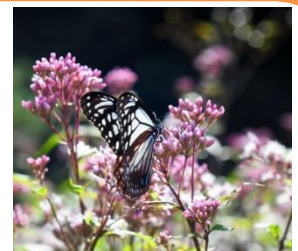
韻韻たる鐘聲邑里に澄む

安楽寺は醍醐天皇の勅命によりこの波瀬の地に創立された曹洞宗の古刹、鶏足山と称する。本尊は慈愛の眼差しに満ちた薬師如来像である。折りから鐘の音が村里に響き渡っているのである。



渡りチョウのアサギマダラ、今年も津市一志町波瀬に飛来

「旅するチョウ」として知られるアサギマダラが、津市一志町波瀬のフジバカマ畑に飛来してきました。好天に恵まれた10月3日、写真や昆虫の愛好家、自然に癒しを求める人たちが畑を訪れ、カメラやスマートフォンをむけていた。フジバカマ畑は、



「里山ファンクラブ」が一昨年から、会長の水谷賢次さんら会員23人が約1千メートルに広がってきた。（朝日新聞 写真菊池洋行氏）

10月末でチョウは南に移動しますが、来年も来てくれますようにと畑の手入れに余念がありません。伊勢の津七福神霊場、安楽寺の近くです。是非来年秋にはお出かけください。

伊勢の津七福神 吟行④ 伊藤芳樹さん作(津市藤方・楓社漢詩会)

四天王寺

額突ぬかづきし貴人きじんの墓はかや苔こけの花はな

太子開基古梵宮

太子開基たいしかいきす古梵宮こぼんぐう

法燈千歳敬遺風

法燈千歳ほうとうせんさい敬遺風いふうを敬すけいす

貴人奠得香華夥

貴人きじんを奠まつり得えて香華こうげ夥おびただし

慈愛鐘温落日中

慈愛じあいの鐘かねは温あたたかなり落日らくじつの中うち

四天王寺は聖徳太子が創建されたお寺で、昔から崇敬されている。

著名な人々の墓があり、いつも多くの供華が絶えない。折しも夕陽の沈むなか、慈しみの鐘の音が聞こえてくるのである。

この漢詩は、伊藤芳樹さんが伊勢の津七福神を巡られた時に詠まれ、それを寄贈いただいたものであります。



一日一しん

- 一日 一つ新しくなり
- 一日 一つ深められ
- 一日 一つ伸びていく
- 一日 一しんで成長する人生



人の一生は一日一日のトータルである。その一日をどう生きるかが、その人の人生を変えることになる。

それは一日をどう変えるか、とあってよい。私は「一しん」の「しん」に、どんな文字を入れられるだろうかと考えている。「伸」「辛」「侵」「信」「振」「真」「深」「進」「診」「寝」「慎」「審」「震」「親」「芯」「尽」「迅」などいろいろな文字がある。今からでも遅くはない。仲間(ちよつといい話を気になる話を 34 安岡正篤氏)に追いつくつもりで、一日一しんに挑戦しましょう。

(ちよつといい話を気になる話を 34 安岡正篤氏)

伊勢の津七福神 友の会のご案内

伊勢の津七福神が津市に開創して9年目を迎えました。

巡拝の方も6,000名(10月末)を越えました。

今200名の友の会会員の皆様のご協力のもと、この先も歩みを進めて行きたいと思っています。

是非ともこの活動に御賛同くださり、巡拝・感謝の心を育て、町おこしの夢を見てください。

会員の方には年3回、友の会便りが届きます。特典もございます。

会費 : 1,000円/年間 金融機関 : 郵便局

郵便振替口座 : 00820-8-123136 口座名義 : 伊勢の津七福神友の会

《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内

電話 : 059-225-8558

URL : <http://isenotsu7fukujin>

■伊勢の津七福神 友の会特典 (会員証をお見せください)

- ・うなぎのつたや 059-228-3005 100円引き
- ・榊原館 059-252-0206 日帰り入浴 お茶進呈
- ・谷石材 0595-21-2148 花筒5%引き
- ・はま作 059-228-3088 和菓子サービス
- ・松菱 7階彦兵衛 059-228-6082 ランチ700円以上 コーヒー1杯サービス
- ・ホテル三徳 059-223-3109 宿泊客にコーヒー一杯サービス
- ・お菓子處とらや本家 059-228-4802 1000円以上お買い上げでポイント5倍押し
- ・マキノ回生堂 059-228-5331 1000円以上お買い上げの方にティッシュひと箱
- ・長谷川印刷 059-228-4465 名刺100枚ご注文の方、一割り引き
- ・飯処しるべ(大門) 059-261-4116 食事の後、ソフトドリンク1杯サービス
- ・(株)日塗建 059-271-6066 塗装料から10%引き 相談に応じます



編集後記：ご意見、原稿お寄せ下さい。

長いトンネルを抜けたのでしょうか。

9周年は無参列ですが、願い事を読み上げます。

ハガキの返信をお待ちしています。

池上 kanon@nifty.com

発行：伊勢の津七福神友の会事務局

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内